
冬の季節

エデンの守護者

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

冬の季節

【コード】

N9041Y

【作者名】

エデンの守護者

【あらすじ】

冬は寒い。でも、僕はいつもあたたかいよ。だって・・・

受験一色になつてきた、冬。

僕は彼女を家に呼んで勉強会。

彼女の美耶には悪いと思つたけど、暖房はつけていなかった。
そのかわり、小さなコタツを部屋に持ってきた。

「康大^{こっだい}、もうちょっと寄つていい？」

そろらきた、予想通りの展開だ。

ふだんより密着する感じ、勉強してたから久しぶり。
だから僕はこの日を楽しみにしていた。

「ねえ康大、ストーブあつたよね？つけてよ。」

「ああ、アレ？ちょっと壊れてて。

今、新しいの買おうか悩んでるんだ。」

「えー、そうなの？」

彼女の困つた顔はとてもかわいい。

だから、これも予想通り。

これはかなり幸せですな、うん。

「さ、勉強しよ美耶。」

分からないところは何でも聞いて。」

「ほんとに？じゃあ、最初の一問目からなんだけど……。」

「あはは、そこから？
まずはがんばってみようよ。」

「無理ね。」

などと、僕たちは遊びながら勉強を始めた。
でも三十分もすぎると勉強の苦手な美耶は飽きているし。
推薦を取れている僕は、勉強する意味なし。
となると、美耶が当然しかけてくる。。

「ねえ康大、久しぶりにさあ、しよ？」

ほら来た。

まあ、盛んな時期ですから、付き合っていますし、
いろいろやりましたよ。

でも今は、受験勉強が大事。美耶とは同じ学校に行きたい。

「美耶、ちゃんと勉強しないと

僕の行く学校、落ちちゃうよ。」

しかし美耶は問題なしという顔で僕に近づいてくる。

「いいから、ほら、食べちゃうよ〜」

〜〜自主規制〜〜

アレから数時間、時間も8時を回るところ。

「親御さんに話したの？」

「うん、お嬢さんのところに泊まるって。」

そう、向こうの親も僕の親も二人の関係には大賛成。

この前なんて向こうの親に「孫が見たいね〜」なんていわれたほど。って、え？と・ま・る？泊まる？

「ちょっと、美耶、泊まるって何？聞いてないよ。」

「うん、言っていないよ。」

でも大丈夫、おじ様とおば様にはちゃんと言ったから。」

だから今日いないのか。さらに「ふふ孫が見れそうね」「なんてふざけた事言ってたのか。」

「エへ」「

ふう、俺の周りは大変だ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9041y/>

冬の季節

2011年11月27日01時52分発行